学校番号	3009

令和８年度　工業科（機械系）

教科	工業科（機械系）	科目	機械製図	単位数	１単位	年次	１年次（後期）
使用教科書	『機械製図』（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

機械製図を通じて、製図の基本的な知識・技能の習得をめざす。機械製図の基礎として、ドラフターならびに製図道具一式の取り扱いができる。また、基本的な図面の読み描きができる。

2　学習の到達目標

図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上をめざして、自ら学び、主体的に取り組む態度を養う。

a：製図用具を正しく使うことができること。
　製作図の描き方（線の種類、用途）を理解し、三角法（投影法）を用いて図面を描くことができること。

b：図形に寸法を記入することができること。

c：資料から必要なデータ（規格）を読み取ることができること。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各種機械部品の製作に使用される図面に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。図面の役割と知識を理解し、製図道具の使用方法、製作図の描き方を身に付け、図面を読み取る能力を養う。	各種機械部品の製作における諸問題を的確に把握（分析）し、考察を深めるとともに、加工に必要な寸法を的確に判断し、表現できる知識と技術を身に付ける。	製作図面を作成することに興味・関心をもち、丁寧かつ正確に製作図面が描けている。機械製図の意義や役割の理解及び諸問題の解決をめざして，主体的に学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	製図の基礎	1 機械製図と規格 1 図面の役目と種類 2 製図の規格 2 製図用具とその使い方 1 製図用具 2 製図用具の使い方 3 図面に用いる文字と線 1 文字 2 線 4 基礎的な図形の描き方 1 基礎的な作図 2 直線と円弧、円弧と円弧のつなぎ方 3 平面曲線	a:製図の基本である文字や線の描き方を理解している。 誤りのない図面を描くことができる実践的な知識を身に付けている。 b:製図用具の種類や基本的な使い方について理解している。 創意工夫（思考・判断）し、用具の特質を生かした正しい使い方ができる。 c:基礎的な図形の描き方について理解している。 興味・関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	定期考査	図面 課題	図面 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度